

2010年3月～2021年3月の間に たい矯正歯科においてMRIの撮影を受けられた方、 そのご家族の方へ

—「MRIの硬組織像描出法を用いた口腔顔面領域への応用の検討」へのご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長

病院長：前田嘉信

研究責任者 岡山大学病院 口腔外科（顎口腔再建外科部門）教授 飯田征二

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

矯正歯科治療においてMRI検査は軟組織（皮膚、筋肉などの柔らかい組織）の評価に非常に有効で、放射線の被曝がない検査方法ですが、硬組織（歯や骨などの硬い組織）の評価は難しいとされています。MRIによって硬組織が評価できるようになればCT撮影の頻度を減らし、不要な被曝を避けることができます。そこで我々は画像処理ソフトを応用しMRI検査により硬組織を評価する手法の開発を目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により将来の矯正歯科治療における放射線被曝量を軽減させることが可能になると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年3月から2021年3月までにたい矯正歯科にてMRIを撮影された方

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月31日

3) 研究方法

従来の診療の一環として撮影されているMRI検査のデータを画像処理ソフト上にて処理を行い、顔貌写真や単純X線写真などと比較して検討を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、臨床所見
- 2) 画像検査：MRI検査、頭部規格X線写真、CT、パノラマX線写真
- 3) 診療付帯情報：顔面写真、口腔内写真、歯列模型

※いずれもカルテ記載や看護記録等の既存の情報から収集します。

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院口腔外科 顎口腔再建外科部門内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 口腔外科 顎口腔再建外科部門

氏名：飯田 征二

電話：086-235-6697（平日月曜日～木曜日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-6699

<研究組織>

主管機関名 岡山大学病院 口腔外科 顎口腔再建外科部門

研究代表者 氏名：飯田 征二

共同研究機関

たい矯正歯科

研究責任者 氏名：田井 規能